

主な内容

特集 1~2
災害に備える

トピックス 3~4
●新ビジョンのロゴが完成しました
●熱中症にご注意ください! など

まちがいファイブ 5
情報ステーション 6~11
*最終ページは人口データと若松区の情報

特集 災害に備える

大雨や地震などによる災害はいつどこで発生するか分かりません。これから雨の多い時期を迎えるにあたって、今一度、「災害に備える」ことの重要性について考えましょう。

備え 1 ハザードマップを確認しよう

- 大雨や高潮、津波による浸水や土砂災害のリスク、家から避難場所までの経路を確認しておきましょう。
- ハザードマップは市のホームページ(右記を読み取り)に掲載しているほか、各区役所総務企画課・出張所、市民センターなどに閲覧用のマップを設置しています。



土砂災害・洪水浸水

河川による浸水の危険性を色分けして表示

5m以上 (2階水没)
3m~5m未満 (2階浸水)
0.5m~3m未満 (1階床上浸水)
0.5m未満 (大人の膝まで浸水)

この色の場所は、土砂災害の危険性がある区域

- がけ崩れ
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
- 土石流
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
- 地すべり
 - 土砂災害警戒区域

この場所は、家屋倒壊等氾濫想定区域

- 流速が速く、木造家屋が倒壊する恐れのある区域
- 洪水の際に地面が削られる恐れのある区域

高潮・津波浸水

高潮による浸水の危険性を色分けして表示

5m以上 (2階水没)
3m~5m未満 (2階浸水)
0.5~3m未満 (1階床上浸水)
0.5m未満 (大人の膝まで浸水)

このマークは、過去に高潮被害が発生した箇所

- 高潮発生箇所 (平成11年度以降)

このマークは、津波による浸水の危険性がある区域

- 津波災害警戒区域

このマークは、市が指定している避難所

- 予定避難所
- 一時避難地 (〇〇公園)
- 広域避難地 (〇〇公園(広))

*災害の種類によって、使用できない避難所があります。(各避難所の適応する災害の種類はマークで表示)

洪水 内水 土砂災害
地震 津波 高潮 火事

市長からのメッセージ

近年、全国各地で大雨や地震などによる自然災害が多発しています。西日本を中心とした平成30年7月豪雨では、本市でも2名の尊い命が失われ、各地でがけ崩れや河川の氾濫などの災害が発生しました。

災害からご自身やご家族を守るため、日頃から防災に対する正しい知識と心構えを持ち、災害への備えや、発生時には適切に行動することが必要です。お住まいのエリアがどのような災害が起こりやすいか、避難所の場所はどこか、またその避難所がどの災害に適応しているか確認しておきましょう。

災害はいつどこで起きるか分かりません。もしもの時のために、事前にしっかりと準備をして災害に備えましょう。

